大平農水環境整備委員会

市町村名	伊豆市

地域	大平集落の地域		代表者名	山邊喜一	活動期間	平成20～24年度	
協定面積（ｈａ）	水田	32.91	対象面積（ｈａ）	水田	31.00	対象資源	数　量
	畑	8.00		畑	8.00	農用地	3.9ha
	草地			草地		開水路	15.8km
	計	40.91		計	39.00	パイプライン	
主要作物	水稲他		参加団体	大平部農会　大平区　共有山　生涯学習推進委員会　老人クラブ　子供会　消防団		ため池	
構成員	農業者	非農業者	計			農道	6.7km
人　数	105	621	726			事業費(年)	1,588,000

主な活動内容

（基礎部分）
・遊休農地等の発生状況の把握
・施設の点検
・共同作業計画の策定
・草刈り
・配水操作　他

（農地・水向上）
・機能診断　・診断結果の記録管理
・年度活動計画の策定
・暗渠施設の清掃　・農用地の除れき
・きめ細やかな雑草対策　・通水試験
・ゲート類等の保守管理の徹底
・異常気象後の見回り、応急措置　他

（農村環境向上）
・景観形成生活環境保全計画の策定
・地域住民との交流活動
・農業用水の地域用水としての利用管理
・農用地を活用した景観に配慮した作付け

地域の概要

平成２０年４月天城北道路が大平インターまで開通し今後の発展が期待される。昭和６３年圃場整備事業が完了している。農・非農業各１００戸程度の中山間地域である。

目指すべき方向

今後確実に起こる農業者後継者不足による農地管理・耕作放棄地発生問題がある。非農業者との協力による農用地保全と農業協力体制の確立の一助となる事を計りたい。

活動の感想

数年来の要望であったＵ字溝水路の布設替えや水路沿いにアジサイ植栽等の活動ができた。目に見える活動成果があり、事業参加者としては事業の達成感は醸成された。

課題

本事業の目的が全住民に理解されているかは懸念がある。広報活動の強化を計り当事業の理解に努め、自主的な住民参加意欲の向上に努める。

抱負・コメント

農業従事者の高齢化と後継者不足は、当地区でも喫緊の課題である。非農業者との共同活動により農村環境の向上とコミュニティ力強化を計りたい。

地域住民による水路清掃

稲刈り体験会

水路布設替え